

株式会社コメリ

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

(2026年4月1日～2026年6月30日)



<https://www.komeri.bit.or.jp/>



2026年7月28日
東証プライム (8218)

■ 「衣食**住**」 ⇒ 「**住**食衣」へ

- ・ お客様のご不満が多いのは “**住関連分野**”



自宅での時間をもっと楽しみたい
ライフスタイルの変化に対応したい



■遅れた分野の流通近代化

- ・複雑で多段階にわたる流通構造
- ・バルキーで物流が難しく、一筋縄ではいかない分野
- ・生産から販売までをトータルプロデュース

原材料

加工

運搬

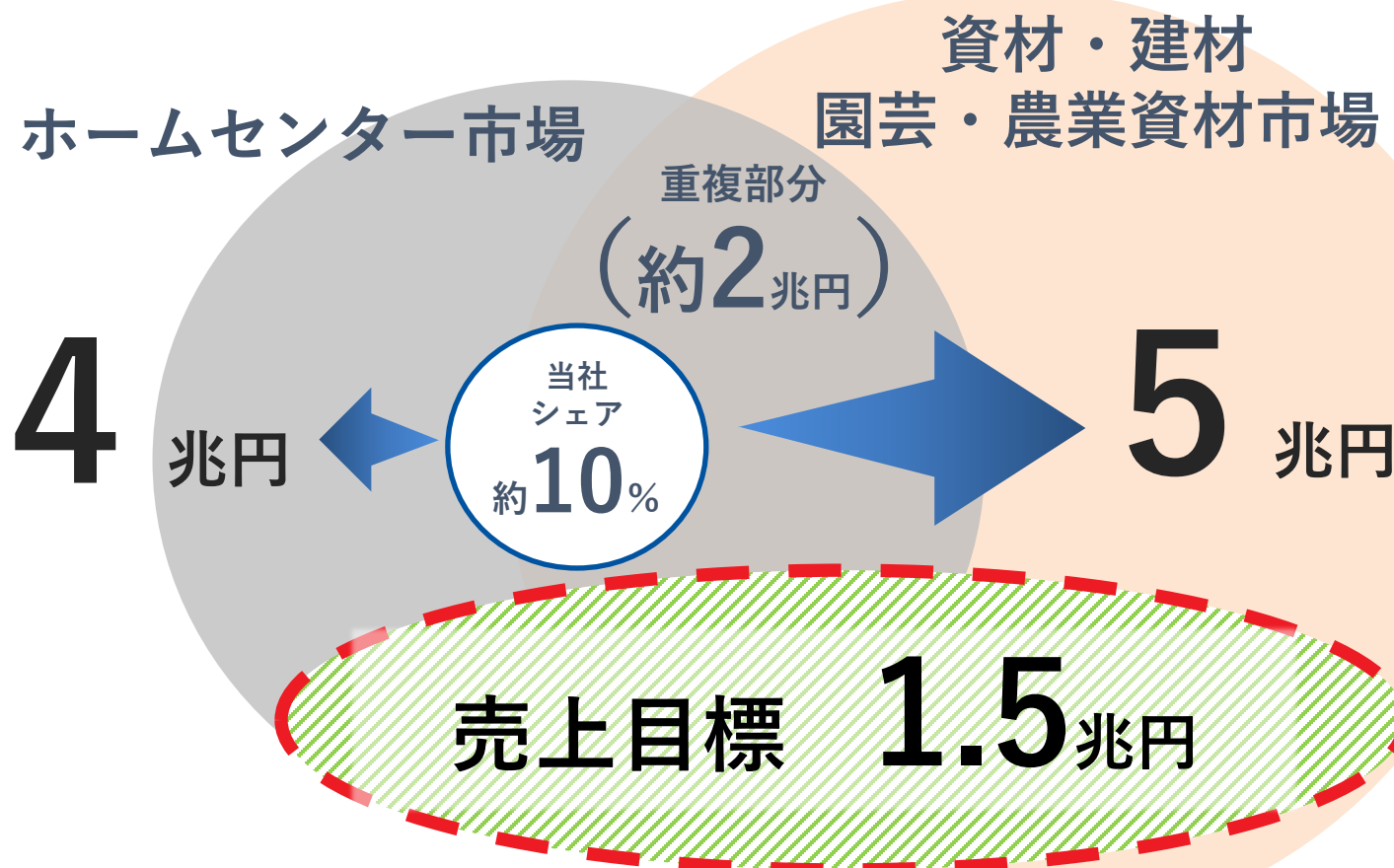
販売



チェーンストアの仕組みで流通構造を改革
減少する業種店のニーズを担う『〇〇ならコメリ』

■コメリがチャレンジする分野

- ・チャレンジするのは **7兆円** 市場



2027年3月期 第1四半期 決算実績（連結）



（単位：百万円）

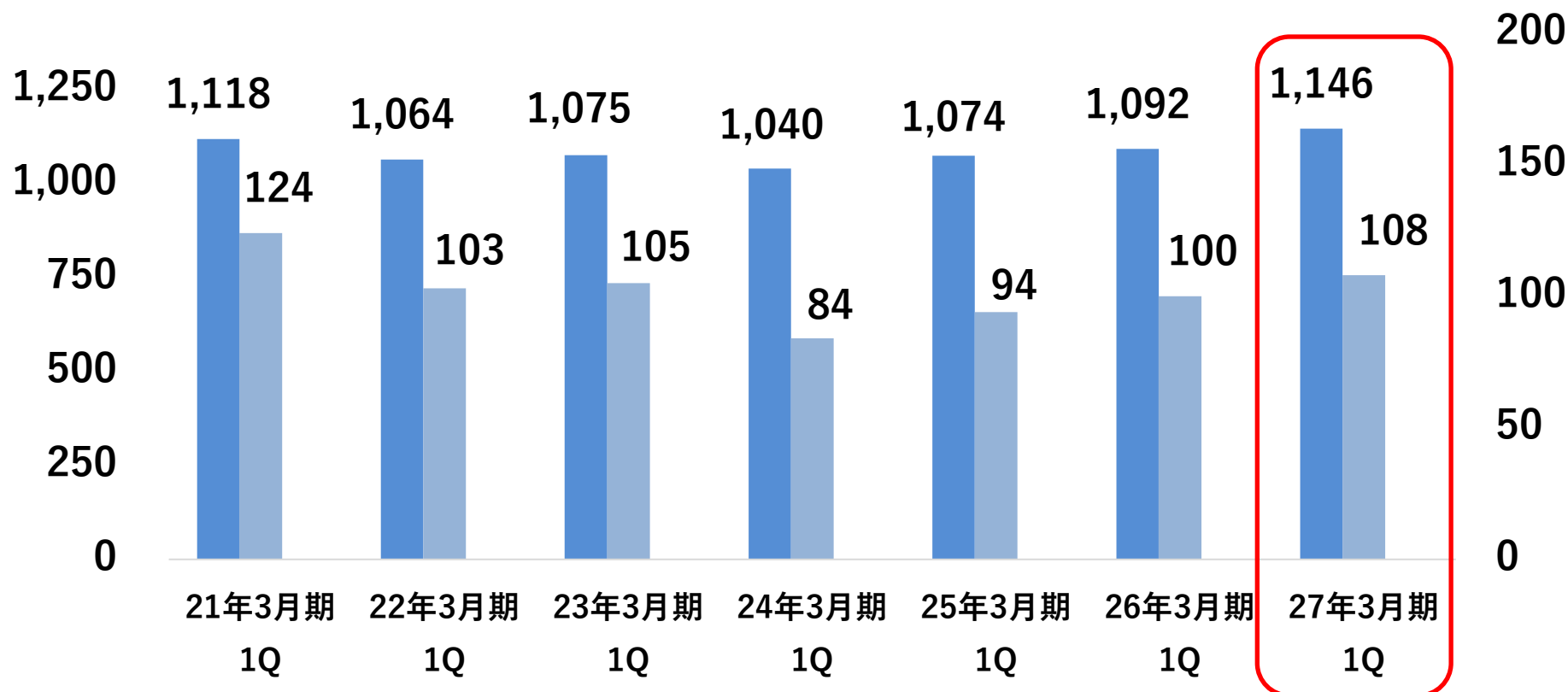
	当第1四半期 実績	営業収益比	前年比
営業収益	114,646	100.0%	104.9%
営業総利益	39,023	34.0%	104.9%
販売管理費	28,140	24.5%	103.5%
営業利益	10,883	9.5%	108.8%
経常利益	10,859	9.5%	107.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,243	6.3%	105.2%

営業収益・営業利益推移



(億円) ■ 営業収益 (左軸) ■ 営業利益 (右軸)

(億円)



- ・ 中東情勢の影響から建築資材や日用消耗品の販売が堅調
- ・ 6月は昨年空梅雨による反動減
- ・ 第1四半期で過去最高の営業収益を達成

商品カテゴリー別実績



	2027年3月期第1四半期				
	売上金額	前年比	営業収益比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	19,141	108.8%	16.7%	42.2%	▲0.5
リフォーム資材・エクステリア用品	16,059	106.3%	14.0%	29.6%	+0.2
園芸・農業・ペット用品	44,763	102.8%	39.1%	29.6%	▲0.3
日用品・家電・カー・レジャー用品	19,956	108.1%	17.4%	26.2%	+1.0
インテリア・家庭・オフィス用品	8,403	102.7%	7.3%	39.7%	▲0.2
燃料等	1,288	85.5%	1.1%	9.0%	▲0.6
その他	3,943	102.7%	3.4%	100.0%	—
ホームセンター事業計	113,555	104.9%	99.0%	34.1%	±0.0

- ・ 価格高騰懸念から建築資材の販売が堅調に推移
- ・ ポリ袋や農業用フィルム等の石油由来商品の需要拡大
- ・ 2027年エアコン問題を背景にエアコンや関連部材の販売が堅調

フォーマット別実績



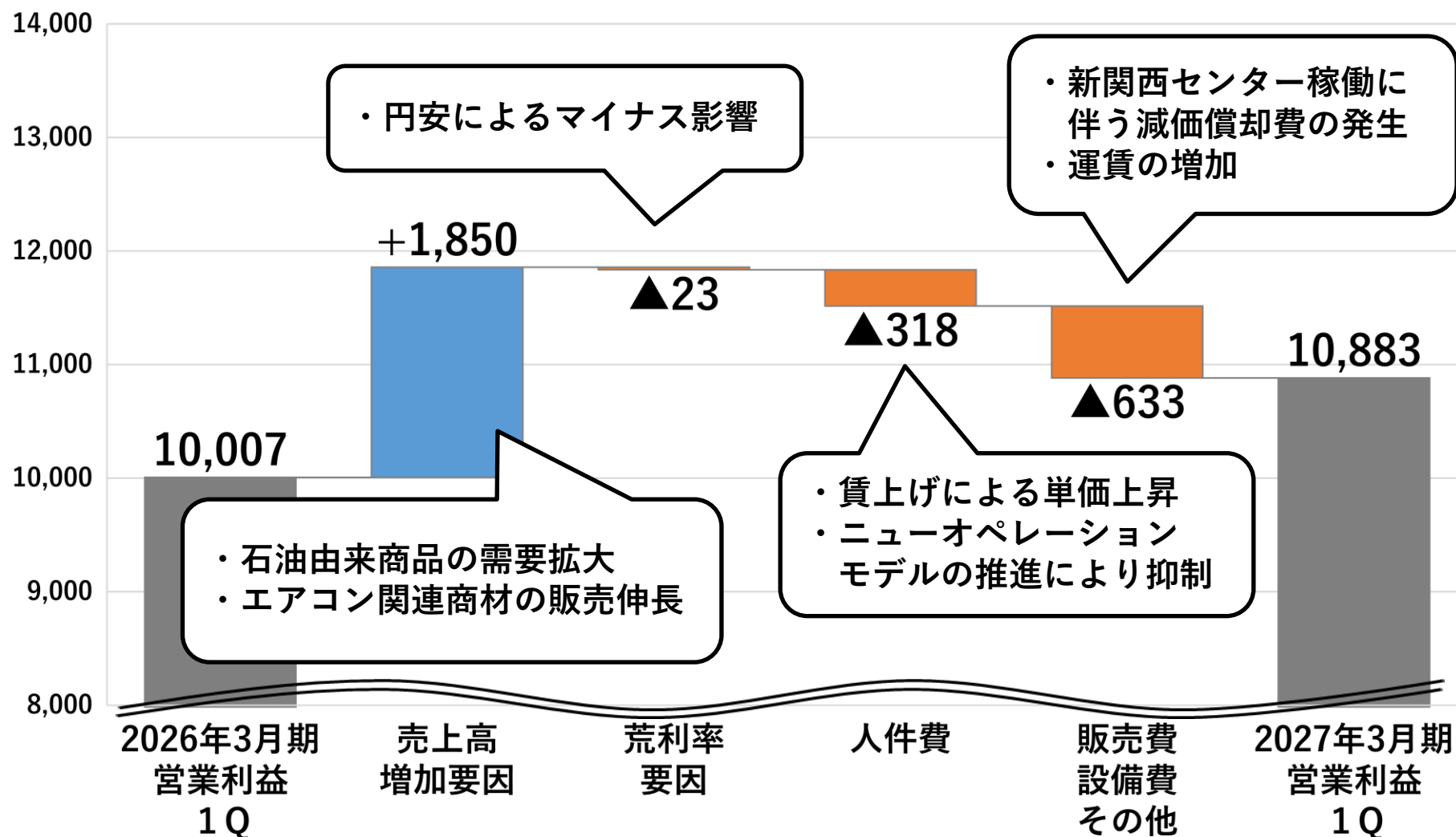
	2026年3月期 第1四半期		2027年3月期 第1四半期	
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比
パワー	102.8%	100.6%	108.3%	106.0%
P R O	135.1%	108.1%	141.5%	121.0%
ハード & グリーン	100.2%	100.2%	102.1%	101.7%
合計	101.6%	100.5%	105.0%	103.7%

- ・ パワーは、中東情勢の影響から建築資材や日用消耗品が伸長
- ・ PROは、客数および客単価ともに2桁伸長
前期より出店も進んでいることで成長が著しいフォーマット
- ・ ハード & グリーンは春先の気温上昇を受けガーデニング用品
の販売が堅調に推移

営業利益増減要因



(百万円)



販売管理費



(単位：百万円)

	2027年3月期 第1四半期		
	実績	前年比	前年差
人件費	12,344	102.7%	+318
販売費	3,310	99.5%	▲15
設備費	9,455	106.6%	+581
その他経費	3,029	102.2%	+66
合計	28,140	103.5%	+951

- ・ ニューオペレーションモデルにより人件費の増加を抑制
- ・ 新関西センター稼働に伴う減価償却費の発生

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2026年6月末	2026年3月末	前期末増減	2025年6月末	前年増減
資産の部	流動資産	190,184	183,200	+6,983	183,173	+7,010
	うち 現金及び預金	14,841	12,130	+2,711	16,704	▲1,863
	うち 商品	130,728	132,696	▲1,968	124,184	+6,543
	固定資産	210,530	210,994	▲463	206,308	+4,221
	うち 有形固定資産	182,680	183,130	▲449	179,150	+3,530
	うち 無形固定資産	9,393	9,441	▲48	9,155	+237
	資産合計	400,715	394,194	+6,520	389,482	+11,232
負債の部	流動負債	98,507	98,575	▲68	100,384	▲1,877
	うち 短期有利子負債	17,167	15,276	+1,890	16,505	+661
	固定負債	39,272	38,639	+632	37,065	+2,206
	うち 長期有利子負債	16,243	15,576	+666	14,017	+2,225
	負債合計	137,779	137,214	+564	137,450	+328
	純資産合計	262,935	256,979	+5,955	252,032	+10,903
	負債・純資産合計	400,715	394,194	+6,520	389,482	+11,232

成長基盤投資 ～投資計画～



	2027年3月期 計画	> >	2027年3月期 第1四半期実績
新規出店	42店舗 140億円	> >	業態転換に向けた 増床実施 他 7 億円
既存店 改装等	約140店舗 約10万坪 30億円	> >	37店舗実施 5 億円
流通 センター	既存センター 機能拡充 10億円	> >	既存センター 機能拡充 0.8 億円
各種 システム投資	20億円	> >	4 億円
GX投資	20億円		2店舗 太陽光パネル設置 0.8 億円
合計	220億円	> >	17.6 億円



第1四半期の店舗数（出店状況）



■ 出店 店舗数計 1,234店舗（2026年6月末時点）

業態転換を控えた既存店舗の増床により、売場面積は拡大

出店	合計	パワー	P R O	H & G
通期計画	42	8	8	26
第1四半期 実績	0	0	0	0

■ 改装

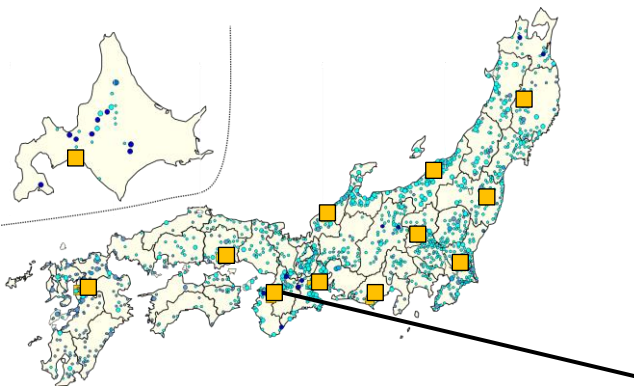
改装	店舗数	改装坪数
通期計画	約140	約10万坪
第1四半期 実績	37	12,491坪

- ・ H&Gのプロトタイプの水平展開
- ・ キープヤング

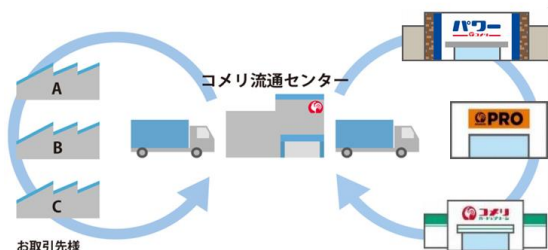
改装実施後
売上高約**5.7%**増

■ 配送の効率化・省力化

- ・ 旧関西センターを移転拡張→当社最大規模の物流拠点へ
- ・ 配送効率を高め、物流基盤の強化を通じて、商品力を強化
- ・ 新たに導入した新システムを既存センターへ水平展開



国内12か所の物流拠点



＜新関西流通センター 2026年2月稼働開始＞

暮らしを守り・育てる商品開発



■ 1,200を超える店数が生む商品開発力

- ・ 同じ商品であればどこよりも安く
- ・ 同じ価格であればどこよりも良いものを

➡ マス化により実現



海外混載機能を保有
国内12カ所 物流センター



PB商品売上高

前年同期比 **102.0%**

構成比 **50.0%**

リフォーム事業



■ 1,200を超える店舗数を活かしたチェーンリフォーム

- ・ リフォーム事業は売上前期比**112.1%**
- ・ 「住急番取付」「住急番サービス」は売上前期比**144.2%**
- ・ リフォームマイスター2級取得率**83.9%**（2026年6月末時点）



■ ネットとリアル融合

- ・ 1,200を超えるリアル店舗の強みを活用
- ・ EC売上前期比**112.6%**、EC売上比率**7.3%**（前期比0.5%増）
- ・ EC注文商品の店舗受取比率は**80%超**

全店舗で受取可能



送料不要の
店舗受取



約54万SKUが
ネット注文可能

 **KOMERI.COM**



BOPIS

カード事業



■多様な決済ニーズに対応できる6種類のカードを発行

- ・年間の購入金額に応じてポイント率を優遇するFSP施策
- ・2025年10月よりプラチナランクを新設



■ローコスト運営の拡大

- ・セルフレジ設置店舗は179店舗に拡大
- ・お掃除ロボットを大型店を中心に49店舗へ拡大

(2026年6月末時点)



<セルフレジの導入拡大>



<お掃除ロボットの導入拡大>

農業分野の取り組み



■ 農業事業者の利便性向上

- ・ 8JAとの協業関係
 - ⇒ JAの商品を取り扱っている店舗は47店舗に拡大
 - ⇒ JA・農業者・コメリの「三方良し」の関係
- ・ さらに3JAと協業開始に向けた協議を継続中
- ・ 数店舗にて、農業資材に特化した売場変更実施



<2026年2月/JA大井川との協業開始セレモニー>



<アグリ営業マネジャーによる営農指導>

環境に配慮した商品開発



＜環境ストレスへの耐性を高める資材＞



＜渇水・水切れ対策資材＞

- ・ 持続可能な栽培の支援
- ・ 水資源の節約による渇水への対策



NPO法人 コメリ災害対策センター

等時における物資供給に関する協定」



＜海上自衛隊補給本部/協定締結式＞



＜新関西センター内/災害への取り組みを紹介＞

- ・ 1,237団体との物資支援協定を締結（26年6月末時点）
- ・ 各自治体の「防災・減災」意識の向上に努めております。

株主還元方針と自己株式取得

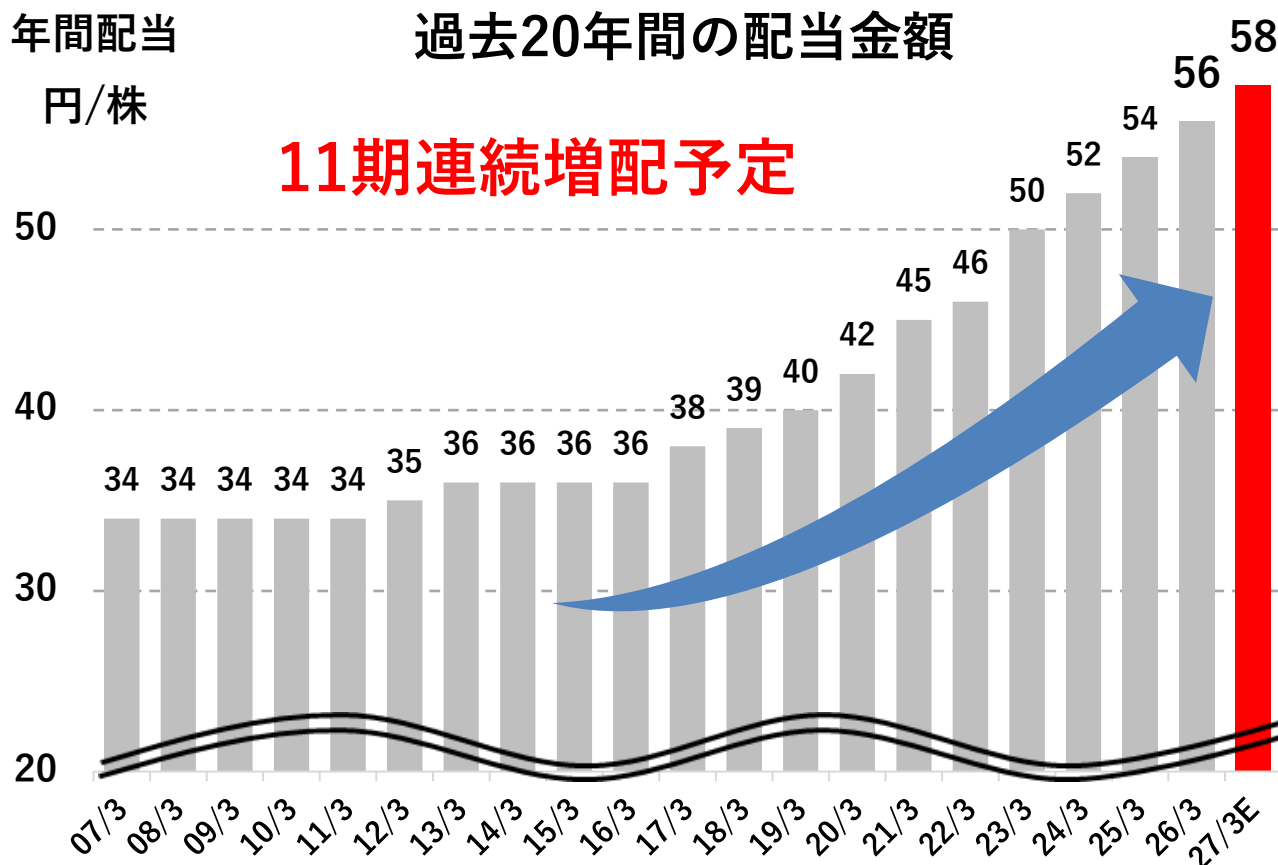


■ 当社グループは、流通近代化の実現が中長期的な企業価値の向上、株主利益の増大に寄与するものと考えております。利益分配につきましては、業績の成長に応じて配当の維持または増配を行う累進配当を基本としております。

年間配当
円/株

過去20年間の配当金額

11期連続増配予定



2026年7月28日発表
自己株式取得

取得株数 (上限)

2,200,000株

取得価額 (上限)

8,800百万円

経営環境の変化や資本市場の動向を加味し、機動的に実施。

2027年3月期

総還元性向

76.5%(見込み)

2027年3月期業績予想



(単位：百万円)

	2027年3月期 第1四半期実績	前年比	2027年3月期 上半期業績予想	前年比	2027年3月期 業績予想	前年比
営業収益	114,646	104.9%	209,500	104.1%	400,800	104.0%
営業利益	10,883	108.8%	16,400	106.8%	24,000	104.1%
経常利益	10,859	107.4%	16,350	104.8%	23,900	102.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,243	105.2%	11,000	106.2%	15,000	102.4%

2026年4月28日に公表いたしました
上半期および通期業績予想を据え置いております。



【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。